

新しい学校だより

～未来をひらく 新たな学びの場に向けて～

御所市では、少子化の進行により市内のすべての小・中学校が国の定める適正規模（12～18学級）を下回り、小規模校化が進んでいます。

その結果、クラス替えができない、異なる価値観にふれる機会が限られたりするなど、子どもたちの学びや育ちに影響が出ています。



こうした課題に対して、御所市では「子どもたちによりよい教育環境を届けたい」という思いのもと、「これからの時代にふさわしい学びの場」をめざし、段階的な検討を重ねてきました。

そして、令和7年3月に「御所市立小・中学校に係る新しい学校づくり基本方針」を策定し、学校再編の具体的な方向性を決めました。

この方針では、開校時期：令和13年4月

設置場所：御所小学校、御所中学校用地を一体的に活用

形態：小学校7校・中学校4校を再編し、新たに1つの義務教育学校を設置することを決定しました。

令和7年度4月からは「新しい学校づくり推進課」を教育委員会に設置し、市民の皆さまや保護者、教職員、子どもたちと意見交換を重ねながら、教育のあり方、通学方法、施設配置などについて段階的に検討を行っています。

また、タウンミーティングやワークショップなどを通じて、地域の声を反映しながら「みんなでつくる新しい学校」を目指してまいります。



今後もこの「新しい学校だより」を通して、再編の検討状況、今後のスケジュールなどをお知らせしてまいります。併せて、市のホームページにも新規情報を随時掲載しておりますので、ぜひご覧ください。